

補助金等評価調書 平成28年度行政評価（シート1）

所管部課名	教育部 スポーツ振興課	作成日	平成28年7月31日	No.	31		
作成責任者(課長)氏名	指田 政明	作成者氏名	木村 信一	電話	654		
補助金等名	全国大会等出場者補助金						
開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 8年9月 <input type="checkbox"/> 不詳						
実施根拠	法令等の名称 武蔵村山市全国大会等出場者補助金交付要綱						
補助区分	<input type="checkbox"/> 定額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> その他 (説明)⇒ 個人4,500円、団体限度額9万円						
補助金等の概要	対象: (交付先)	武蔵村山市に活動の拠点を置いている団体又は当該団体に所属する市内に住所を有する者					
	補助内容: (補助基準等)	交通費:出場者1人当たり4,500円(団体限度額90,000円) 宿泊費:出場者1人当たり4,500円(団体限度額90,000円)					
	意図: (目的、趣旨)	市民のスポーツ、文化活動等の振興を図るため、武蔵村山市で活動し、かつ全国大会等に出場することとなったものに対して補助金を交付する。					
	実施結果: (具体的成果) ※27年度実績	2団体及び4人に補助金を交付した。 【団体】ハンドボール(東日本小学生大会)、ゲートボール(全国健康福祉祭やまぐち大会) 【個人】バドミントン3人(全日本社会人選手権大会・全日本シニア選手権大会)、柔道1人(全国小学生学年別大会)					
他市等の状況	26市中本市を含めた9市(立川市、青梅市、府中市、調布市、小金井市、小平市、羽村市、西東京市、武蔵村山市)が補助を実施している。						
【評価指標】							
	指標名	単位	説明・計算式				
活動指標	① 全国大会出場人数	人					
	② 全国大会回数	回					
成果指標	① 全国大会出場人数	人					
	② 全国大会回数	回					
費用・成果の推移							
	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算	備考			
交付金額(千円)	38	148	180				
うち一般財源	38	148	180				
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10				
総コスト(千円)	884	994	1,027				
活動指標	①	21人	24人	人	2団体・個人4人		
	②	3回	6回	回	全国大会出場回数		
成果指標	①	21人	24人	人			
	②	3回	6回	回			
【交付団体等の決算・予算の状況等】 ※特定団体に交付の場合のみ記載							
単位:千円	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算	平成27年度の補助金の使途			
収入総額(千円)	38	148	180	交付金額(千円)	148		
収入内訳	市補助金	38	148	180	使途内訳	交通費(全国大会開催地)	62
	会費	0	0	0		宿泊費(全国大会宿舍)	86
	繰越金	0	0	0			
	事業収入	0	0	0			
	その他	0	0	0			
支出総額(千円)	38	148	0				
支出内訳	食糧費、交際費	29	62	各種割合			
	人件費			団体収入に占める補助金の割合	100%		
	事業経費			団体収入に占める繰越金の割合	0%		
	その他	9	86	交付金額に対する繰越金の割合	0%		
過去の評価経過	協議会・委員会の意見要旨	<input type="checkbox"/> 補助金等検討協議会(平成20年度) <input checked="" type="checkbox"/> 行政評価委員会(平成24年度) 本補助金は、本市に活動の拠点を置く団体又は当該団体に所属する市民の全国大会等への出場に係る交通費及び宿泊費の一部を補助するものである。 例年、申請件数は極めて少ないが、全国大会等への本市からの出場者数自体が少ないことに鑑みると、財政的支援を通じて市民のスポーツ、文化活動等の振興を図ろうとする本補助金には一定の意義が認められる。 よって、本補助金については、十分な周知に努めながら、今後も継続していくことが適当である。					
	見直し等の状況						

評価項目	評価	確認項目（※○・×のどちらにも該当しない場合は、「－」を選択。）
一次評価	公益性	○ ① 市民からのニーズが大きい。
		－ ② 補助事業に類したサービスを提供可能な機関や団体が他にない。
		× ③ 被交付者だけではなく、一般市民にも間接的な受益がある。
	効率性	× ① 補助金の内容や補助額等について、過去5年以内に見直しを行っている。
		× ② 補助額、実施手法等について、過去に他市等との比較を行った。
		× ③ 補助期間(終期)を設定している、又は設定の予定がある。
		(○の場合)⇒終期 平成 年 月
		○ ④ 必要最小限の補助であり、縮減や所得制限導入の余地はない。
		○ ⑤ 補助額、補助率等の算定根拠を説明できる。
	(○の場合)⇒算定根拠 (説明) 「武蔵村山市全国大会等出場者補助金交付要綱」の規定により交通費・宿泊費ともに出場者1人当たり4,500円を限度とし合計で9万円まで補助する。	
有効性	○ ① 補助基準が明確である。	
	× ② 補助金の成果について、具体的な数値目標等を設定している。	
	(○の場合)⇒目標内容 (説明)	
適格性	○ ③ 補助金の交付により、期待された効果が得られた。	
	○ ① 繰越額が補助金額を上回っていない。	
	○ ② 補助金に依存することなく、被交付者が自主財源の確保に努めている。	
	(○の場合)⇒取組内容 (説明) 全国大会等出場に要する交通費、宿泊費等は自己負担であり、その一部について補助金を交付する。	
	○ ③ 決算書だけではなく、帳簿や領収書等で用途の確認ができる。	
その他	－ ④ 市税の滞納がないなど、被交付者が市民としての責務を果たしている。	
	○ ⑤ 交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費の経費に補助金を充てていない。	
	○ ① 補助の目的、内容及び実施時期に緊急性又は優先度の高さが認められる。	
	(○の場合)⇒その理由 (説明) 全国大会等への出場が決定した場合、交通費等の費用が緊急に必要となるため。	
	－ ② 成果向上のため、被交付者自らが活動内容の検証、改善等を行っている。	
(○の場合)⇒改善内容等 (説明)		
－ ③ 補助金に、市民との協働や市民の主体的な取組を促進する作用がある。		
○ ④ 迂回助成(被交付団体から他団体への、補助金を原資とした助成)は行われていない。		
【総合的意見(今後の方向性)】 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 (説明) ※「×」とした項目に言及しながら、所管課としての意見を具体的に記載ください。 本補助金は、全国大会等に出場する際に必要となる交通費及び宿泊費の一部を補助するものである。 特に団体競技では、多くの選手が遠征となり、大会出場には膨大な費用がかかることから、費用の一部を負担する本補助金の有益性は高いものである。 また、本市は、平成26年度にスポーツ都市宣言を行い、スポーツを通じて市民が健康的な生活を営むことにより賑わいと活力あるまちづくりを進めていることから、今後も引き続き補助を継続していく必要があると考える。		
二次評価	【総合的意見(今後の方向性)】 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 (説明) 本補助金は、本市に活動の拠点を置く団体又は当該団体に所属する市民の全国大会等への出場に係る交通費及び宿泊費の一部を補助するものであり、市民のスポーツ、文化活動等の振興を図る上で一定の意義があると認められる。 しかしながら、補助対象となる大会規模の基準が不明確であることや、補助金の交付対象となる団体に属する者とそうでない者との間において公平性が欠けていることなど、課題があるといえるため、今後は、補助要件の見直しに努める必要がある。	
行政評価委員会意見	本補助金は、市のスポーツ振興を図る上で意義があると認められるものの、補助対象及び基準について、不明確な部分があるため、二次評価と同様に補助要件を見直ししていくことが肝要である。 なお、今後は、他の部署や体育協会が行う類似の補助制度との関連性を調査した上で、より効果的な補助制度としていくことを求めたい。	